

科目	化学基礎	単位数	2	学年	1	学級	1年次 全クラス	学科	普通科 教養科
----	------	-----	---	----	---	----	-------------	----	------------

学習の到達目標	自然の事物や現象について学び自然に対する総合的な見方や考え方を養い、人間と自然の関わりを考える。また身の回りの物質を調べ、私たちの生活は化学に支えられていることを認識する。
使用教科書 副教材等	教科書:化学基礎(実教出版) 副教材:アクセスノート化学基礎(実教出版)

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	物質の研究	混合物と純物質、物質の構成単位となる粒子、その構成粒子の結合のしかた、構成粒子の量のあらし方と比較の仕方について学習し、身の回りにある物質についての理解を深める。
	5	物質の構成粒子	
	6	イオンとイオン結合	電子配置図からそれぞれの原子の性質を理解して、イオンの生成方法を理解する。陽イオンと陰イオンの中で起こる結合を理解して、できてくる物質の特徴を学ぶ。共有結合、分子、金属結合について理解をする。
	7	分子と共有結合	
	9	金属と金属結合	
後期	10	物質と化学反応式	原子量、分子量などの学習で、化学での物質の量の扱い方の基礎を学習する。また、濃度についての学習では実験を行う場合の基礎となる内容を学習していく。
	11		
	12		
	1	酸と塩基	状態変化、化学反応の量的関係、反応熱、中和反応、酸化還元反応について学習する。そして、それぞれの反応の特徴や規則性、や特に量的な関係に重点をおき学習し、さらに電池や生活への応用例などについて理解を深める。
	2	酸化還元反応	
3			

評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	授業への取り組み方、ノートの取り方、出席状況など
	思考・判断・表現	授業中の発言内容、実験レポートの内容など
	観察・実験の技能	観察実験時の集中力、器具の操作の仕方、実験レポートの内容など
	知識・理解	定期考査、小テスト、課題など
	評価方法	定期考査 約70% 実験レポート、小テスト、課題 約20% 授業への取り組み(出席状況、ノート、発言、実験実習) 約10%
担当教諭から	知的好奇心を育て考える力を身につけ、論理的に考え、論理的に自分の意見を述べるができるようになってください。	